

ピックアップ事例



びわ湖あさがおネット（旧・びわ湖メディカルネット） （平成26年稼働）

特定非営利活動法人滋賀県医療情報連携ネットワーク協議会（滋賀県）

☎ 077-582-5215

📄 [公式ホームページ](#)

※平成28年9月1日時点のインタビューの結果を掲載しています。
（全体概要は令和2年1月6日時点の情報を掲載）

全体概要

- 概要
- 特徴
- 成功要因
- ネットワーク構築時の苦労
- 構築する方へのメッセージ

計画Step

- 1. 地域課題、要求事項の抽出
- 2. 必要性の検討
- 3. 事業概要の決定
- 4. 事業運営主体の組織の設置
- 5. 個人情報保護方針などの作成
- 6. ガイドライン・標準規格などの確認
- 7. システム化方針決定
- 8. 事業計画・収支計画立案

構築Step

- 1. 工程管理
- 2. 仕様書作成・調達
- 3. 要件定義・設計
- 4. 構築
- 5. テスト

運用Step

- 1. 運用に向けた文書作成

運用Step

1. 運用に向けた文書作成

参加機関が円滑に手続を進めることができるよう、以下の内容のびわ湖メディカルネット・淡海あさがおネットシステム研修会用資料を作成した。

- 医療情報連携ネットワークの目的について
- びわ湖メディカルネット・淡海あさがおネットの利用イメージ
- 必要な準備、運用について
- 必ず守っていただきたいことについて
- 問い合わせ・障害受付の運用方法
- 導入初期費用および利用料について

その他運用に向けて下記の文書類を作成した。

図表：運用に向けた文書類

種類	規程名
組織、運用	設立趣旨書 定款 運用管理規程
個人情報保護	セキュリティ基本方針、個人情報保護方針

- 2. システム運用保守体制決定
- 3. 参加機関の募集・説明・契約
- 4. 設備工事・導入
- 5. 参加患者募集
- 6. 評価・課題整理

更改Step

- 1. 医療情報連携ネットワークの改善事項検討
- 2. システム更改後の事業概要検討

種類	規程名
入会	様式1号 情報提供システム参加申込書 様式2号 情報提供システム脱退申込書 様式3号 閲覧施設参加申込書 様式9号 閲覧施設脱退申込書
利用	様式4号 利用者参加申込書 様式5号 個人情報取扱い誓約書 様式6-1、2号 VPN導入作業依頼書・ヒアリングシート 様式7号 パスワード初期化依頼書 様式8号 利用者登録内容変更申請書 様式10-1号 利用者脱退申込書 様式10-2号 利用者脱退申込書（提供病院用）
同意書	様式11号 患者同意書 様式12-1号 患者情報利用停止申請書 様式12-2 患者情報削除申出書

出所：滋賀県医療情報連携ネットワーク協議会HPより作成

2. システム運用保守体制決定

(1) システム保守業務内容

利用者は、障害発生時に操作マニュアルや障害時の対応マニュアルを活用して一次的な問題解決の対応を行い、解決しなかった場合に全県協議会事務局へ連絡する。全県協議会事務局は障害の内容を確認して切り分けをし、システム障害は日本電気株式会社、ネットワーク障害は株式会社ケイ・オプティコムに連絡をする。

■ システム障害

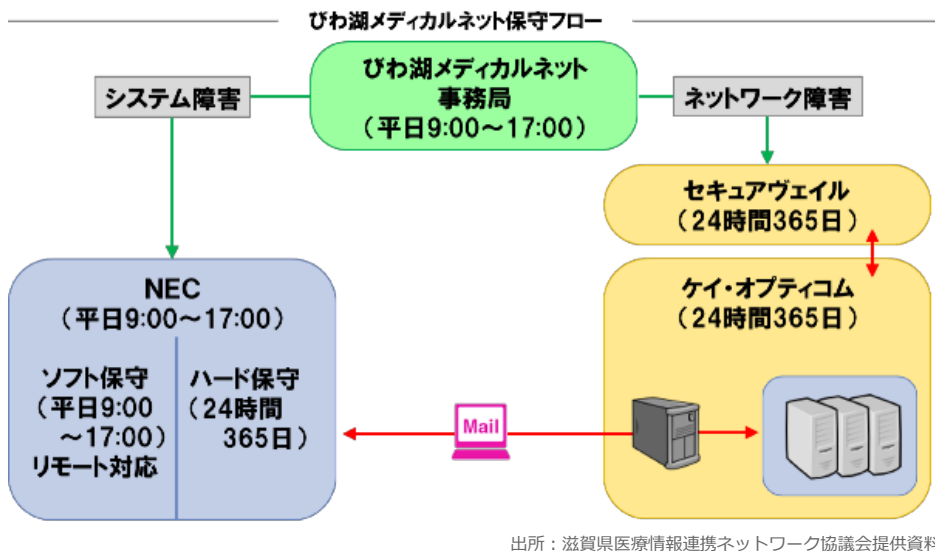
- ソフトウェア保守：平日9時00分～17時00分
- ハード保守：24時間365日

■ ネットワーク障害

- ソフトウェア/ハードウェア保守：24時間365日

なお、障害内容の確認や切り分けにおいて、障害などの状況が聞き取りや画面データの送付などによって十分に把握できないときは、各情報開示病院の電子カルテ保守業務事業者や閲覧施設接続業務委託事業者へ協力を依頼することとしているが、迅速な対応が必要であるなどの特別な事情がある場合は、全県協議会事務局から係員を当該施設に派遣して、具体的障害を確認する。

図表：保守フロー



(2) 問い合わせへの対応方針

全県協議会事務局が受付窓口を設置して、問い合わせや障害時の連絡業務を行っている。
(平日9時00分～17時00分)

3. 参加機関の募集・説明・契約

(1) 募集方法

全県協議会では、運営委員会で周知や広報の方策を協議・検討するとともに、各情報開示病院、医師会などの関係団体、各医療圏協議会、県行政などの協力を得て、下記の周知・広報活動を実施した。

- 全県協議会ホームページ内での広報
びわ湖メディカルネット紹介、各種お知らせ、情報開示同意のお願い、利用参加促進などを内容としたもの。
- 医療機関へのポスター掲示
各開示施設、各閲覧施設、関係団体、行政機関に掲示、びわ湖メディカルネットの紹介、情報開示同意のお願い、利用参加促進などを内容としたもの。
- 医療機関へのパンフレット配布
各開示施設、各閲覧施設、関係団体、行政機関に掲示、びわ湖メディカルネットの紹介、情報開示同意のお願い、利用参加促進などを内容としたもの。

その結果、情報開示同意患者については、医療圏域による差異はあるものの、情報開示病院が病院退院時に患者の同意が得られるよう取組をはじめたことから、順調に増え続けている。一方、閲覧施設の利用参加状況は、各医療機関の主体的な判断に委ねていることから、積極的な活用意思がない限り参加しない実態があり、特定の医療圏を除いて、低位な状況にある。

現在、利用促進を図るため、びわ湖メディカルネットの試用期間を設けるなどの工夫を実施している。また、今後は団体単位での利用参加などを検討することとしている。

図表：ポスター内容

びわ湖 メディカルネット

病院から診療所・在宅療養支援まで
医療情報の共有に、ご協力をお願いします。

びわ湖メディカルネットでは患者さまの医療情報を共有することにより、医療機関の診療連携を促進します。

受診する病院や診療所がかわっても、一貫した医療が提供されるためには、病院や診療所、薬局などで患者さまの医療情報が共有され、切れ目のない連携が行われる必要があります。

滋賀県では、「びわ湖メディカルネット」を整備し、「淡海あさがおネット」（滋賀県医師会で運用）と連携して、患者さまの電子化された医療情報を共有できるよう、取り組みを進めております。

「びわ湖メディカルネット」で医療情報を共有するには、患者さまの同意が必要です。病院や診療所、薬局などから依頼があった場合は、同意にご協力くださいますよう、お願いいたします。

びわ湖メディカルネット

- 医療情報の共有
 - 内科診療所
 - 歯科診療所
 - 薬局
- 情報開覧の同意
- 同意書
- 患者さま

淡海あさがおネット

- 医療・介護情報の共有
 - 訪問介護ステーション
 - 包括支援センター
 - 介護事業所 など
- 情報共有による包括的な支援

特定非営利活動法人 滋賀県医療情報連携ネットワーク協議会
「びわ湖メディカルネット」事務局
〒524-8524 滋賀県守山市 5丁目4番30号 滋賀県立成人病センター内
TEL 077-582-5215 FAX 077-582-5169
Mail smic@mdc.med.shiga-pref.jp URL http://www.biwako-medical.net/

出所：滋賀県医療情報連携ネットワーク協議会提供資料

(2) 参加機関への教育、訓練

システム利用申し込み時に、びわ湖メディカルネット・淡海あさがおネットシステム研修会用資料を活用した初期システム研修（1時間程度）の受講を義務付けている。また既にシステム導入を終えた利用者を対象に、個人情報保護にかかる取扱いや情報セキュリティに関するより充実した研修を実施することとし、その方法として、講義形式の研修会の開催のみでなくe-learningを活用した研修や講習なども検討している。

(3) 参加機関数

平成28年11月15日現在で、開示施設では22病院、閲覧施設では、11病院、112診療所、28薬局、5訪問看護ステーションの合計156施設がびわ湖メディカルネットに参加している。県内の300床以上の医療機関は全て参加している。また、閲覧施設数を地域別に比較すると、湖北医療圏および湖東医療圏に参加機関が集中しており、全体の半数程度を占める。

図表：参加機関数（平成28年11月15日現在）

開示／閲覧	機関種別	参加機関数
開示施設 (22施設)	病院	22施設
閲覧施設 (156施設)	病院	11施設
	診療所	112施設
	薬局	28施設
	訪問看護ステーション	5施設
合計		178施設

出所：滋賀県医療情報連携ネットワーク協議会提供資料

4. 設備工事・導入

情報開示病院においては、各病院で地域医療連携システム（HumanBridge（富士通株式会社）やID-Link（株式会社エスイーシー、日本電気株式会社））の導入を進める一方、全県協議会ではびわ湖メディカルネットのネットワーク基盤への接続工事（機器の設置・設定）や、地域医療連携システムの操作研修、病院関係者を対象とした初期システム研修を実施した。

閲覧施設においては、利用参加者が初期システム研修会を受講した後に、利用者IDと初期パスワードが発行され、全県協議会が業務を委託した事業者が閲覧施設へ出向き、利用端末機器のネットワーク環境のチェック、端末へのVPN導入作業、システムの動作確認を実施した。

5. 参加患者募集

(1) 同意取得

1) 同意方法

びわ湖メディカルネットにおける同意取得方法は、情報を閲覧する施設ごとに同意を行う施設同意である。

湖東・湖北医療ネットでは各参加機関内利用者ごとに同意を得る個別同意方式であった。従って、びわ湖メディカルネットへ移行する際は、患者に同意範囲の変更を周知し、了解の得られなかった患者を除いて、施設同意での運用に変更している。（基本的に同意書を取り直さないとしていたが、一部の病院では再度同意書を取得している。）

2) 同意の種類

びわ湖メディカルネットでは、「登録の同意」と「閲覧の同意」の2つの患者同意を取得する必要がある。

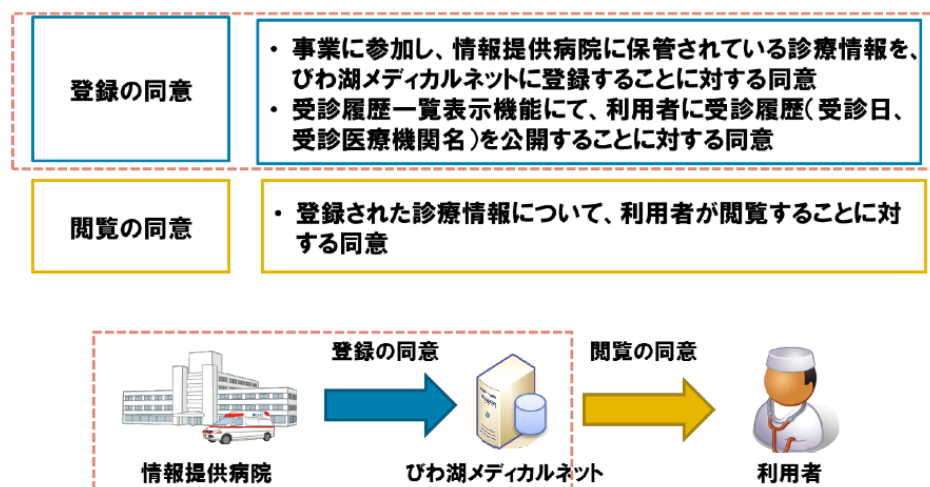
登録の同意は、開示施設に保管されている患者の個人情報（基本情報）と、受診履歴情報（受診年月日、受診医療機関名）がびわ湖メディカルネットに登録されることに対する同意である。一方、閲覧の同意は、登録された診療情報について、利用者が閲覧することに対する同意を得ることである。

登録の同意と閲覧の同意は一葉の同意書において取得できるようになっており、診療情報の閲覧を必要とする場合において、関係医療機関の依頼により、取得している。

閲覧の同意では、個人情報流出への懸念や特定医師に見せたくないなどの理由で、同意をためらう患者も存在した。そこで、正確な情報が参加機関内の関係者に伝わるのが適切な医療につながることを主治医から丁寧に説明するようになったところ、多くの患者から同意を得られるようになった。

図表：同意の種類

患者同意の種類



出所：滋賀県医療情報連携ネットワーク協議会提供資料

3) 同意取得フロー

全県協議会にて説明書、患者同意書の様式を作成し、各閲覧施設と開示施設で患者からの同意取得を実施している。

いずれの地域も、医師の不足から、医療機関連携を促進することが不可欠となっており、医療圏ごとに同意取得の工夫をしている。例えば、湖西医療圏は、開示病院が退院手続の書類を記入する際に、びわ湖メディカルネットの説明と同意取得をあわせて実施するようにしたことで、同意患者数が急速に増加した。

主なフローは下記のとおりである。

- ① 病院・診療所への受診や病院の入院・退院時の説明などの場面で、医師や看護師、地域連携の担当者などが、患者さんや家族の方々にびわ湖メディカルネットの趣旨を説明する。
- ② 患者さんに同意書に必要事項を記入してもらい（あらかじめ、病院などで必要事項を電子カルテなどが記入しておくことは可能。）、最後に患者さん本人もしくは代理人（家族など）に署名してもらう。（複数の開示施設へ情報開示依頼を行う場合は、必要枚数作成する必要がある。）
- ③ 作成後の同意書は、複写（一部）を患者、もしくは代理人に渡す。また、情報開示を依頼する各開示施設の地域連携室までFAXなどにて送付する。
- ④ 同意書原本は、各月の月末に一括して、情報開示依頼を行った各開示施設の地域連携室へ郵送する。

図表：同意書

様式第 11 号	(通し番号: - -)
滋賀県医療情報連携ネットワークおよび地域連携システム 患者参加同意書	
機関・施設名 御中	
私は、びわ湖メディカルネットおよび地域連携システムに関する説明を受け、その目的及び利用方法などを理解しましたので、以下の事項に同意します。	
1. 登録の同意 私は、医療・福祉・介護サービスを受けることを目的に、びわ湖メディカルネット参加機関で保管されている個人情報(氏名、性別、生年月日、郵便番号、住所、電話番号)および受診履歴情報(受診年月日、受診医療機関名)が、びわ湖メディカルネットに登録されることに同意します。	
2. 公開の同意 私は、医療・福祉・介護サービスを受けることを目的に、情報提供病院の地域連携システムを通じて、閲覧希望施設の医療・介護従事者が、診療情報を閲覧することに同意します。	
<p>① 情報提供病院名: _____ (患者 ID: _____) の情報を 閲覧施設名: _____ (患者 ID _____) が閲覧することに同意します。</p> <p>② 情報提供病院名②: _____ (患者 ID: _____) の情報を 閲覧施設名: _____ (患者 ID _____) が閲覧することに同意します。</p> <p>③ 情報提供病院名③: _____ (患者 ID: _____) の情報を 閲覧施設名: _____ (患者 ID _____) が閲覧することに同意します。</p> <p>④ 情報提供病院名④: _____ (患者 ID: _____) の情報を 閲覧施設名: _____ (患者 ID _____) が閲覧することに同意します。</p>	
同意者 氏名: _____ (自署) (代理人 氏名: _____ 続柄: _____)	
<p>記入日: 平成 年 月 日 患者氏名: _____ (カナ氏名: _____) 性別: 男・女 患者住所: (〒 _____ - _____) _____ 電話番号: _____ (携帯番号: _____) 生年月日: (明治・大正・昭和・平成) _____ 年 _____ 月 _____ 日 過去受診した機関・施設名、時期: _____</p>	
説明者 氏名: _____ (自署) 所属: _____ 説明者連絡先(電話番号): _____ (FAX 番号) _____	
※ コピー1部を患者様本人にお渡しし、情報提供病院へFAXをお送りください。 閲覧施設には、情報提供病院から連携登録作業完了通知を致します。	
※ 同意書の原本は情報提供病院で保管するものとします。複数の情報提供病院へ開示を求める場合は、本様式に必要事項を記入いただいた上で必要枚数コピーし、それぞれに患者様の署名をいただいでください。	
滋賀県医療情報連携ネットワーク協議会事務局 〒524-8524 守山市守山5丁目4番30号 県立成人病センター内 TEL: 077-582-5071 FAX: 077-582-5169 メール: smic@mdc.med.shiga-pref.jp	
※事務局利用欄	
【作業実施記録】	
情報提供病院	協議会事務局
日付 /	日付 /

(2) 参加患者数

参加同意患者数は、滋賀県全体で、平成28年11月現在、約13,500人であり、滋賀県全体の推計患者数（平成26年度患者調査に基づく推計値）約84,000人（入院、外来）と比較すると約16%である。

医療圏別に比較すると、湖北医療圏が約6,500人と最も多く、次いで湖東圏が約2,800人、湖西が約2,650人であった。湖北・湖東医療圏は、先行して湖東・湖北医療ネット構築を進めており、ニーズも高かったため、他の地域と比較して患者数が多い。

また、湖西医療圏は、開示施設が退院手続の書類を記入する際に、びわ湖メディカルネットの同意取得をあわせて実施するようにしたこと、登録患者数が急速に増加している。

なお、参加同意については、今後、病病、病診連携などが必要な多くの患者から取得することが重要である。このため、毎年、推計退院患者数の十数%（25,000～30,000人）を目標に同意の取得を進める必要があり、情報開示病院からの退院時（逆紹介時）に積極的に取得できるよう、取組を進めることとしている。

図表：参加患者数（医療圏別）

	滋賀県 全体	南部			東部		北部	西部
		大津 医療圏	湖南 医療圏	甲賀 医療圏	東近江 医療圏	湖東 医療圏	湖北 医療圏	湖西 医療圏
実登録患者数 (H28年11月)	13,451人	324人	314人	132人	612人	2,797人	6,563人	2,652人

出所：滋賀県医療情報連携ネットワーク協議会提供資料より作成

6. 評価・課題整理

(1) 満足度の把握状況

問い合わせ対応時の相談内容は記録・整理しているが、満足度を把握するための項目は無く、調査なども実施していない。

(2) 医療情報連携ネットワーク利用状況

システム・ネットワークベンダからの報告により把握している。

利用回数は、利用者によりゼロから月十数回まで開きがあり、地域によって格差があるが、特に湖東、湖北、湖西の医療圏においては高い利用頻度となっている。

[全体概要](#) > [計画Step](#) > [構築Step](#) > [運用Step](#) > [更改Step](#)

[ピックアップ事例一覧へ戻る](#)

[TOPへ戻る](#)

[ページの先頭へ戻る](#) 

- 医療情報連携ネットワークの導入効果
- 実施のポイント
- 利用者の声（導入効果）
- 利用者の声（苦労した点、成功要因）
- ガイドライン、書式例など

- 医療情報連携ネットワークとは
- 構築手順
 - 構築手順について
 - Step1：計画
 - Step2：構築
 - Step3：運用
 - Step4：更改
- FAQ
- 用語集
- お役立ち情報
 - リンク集
 - 資料ダウンロード
- データで見る
- ピックアップ事例
- 事例を探す